

事務事業名		消防団車両等整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	0 5 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	1 8 市民生活に身近な安全の確保		区分	
	基本事業名	0 1 消防体制の充実		単年度繰返	
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	大船渡消防署		【開始年度】	
	課長名	佐藤 礼		昭和27 年度～	
	係名	警防係	電話	0192-27-2119	
	担当者	山口 友行	内線	433	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
消防団は、現代社会の安寧に欠かせないものであり、日夜市民の生命、身体、財産の保護を目指し、活動しています。この活動を効果的に行うため、消防団車両は不可欠なものであり、現在、市内の各地域に41台の車両を配置しています。この車両の老朽化したものを計画的に更新する事業で、事業費は、これらの消防ポンプ自動車と小型動力ポンプ付積載車を更新するための購入費です。 ※ 団本部1、41部 ※ 団指揮車1台、各分団車両41台、				B 施設整備	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)				総投入量(千円)	
				事業費	財源内訳
				人件費	国庫支出金
					都道府県支出金
					地方債
					その他
					一般財源
					事業費計(A)
					0
					正規職員従事人数
					延べ業務時間
					人件費計(B)
					0
					トータルコスト(A)+(B)
					0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) 小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプ:第9分団第1部	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 購入更新計画に従って、事業を進める。	ア 消防施設整備消防ポンプ自動車更新台数 台
	イ 消防施設小型動力ポンプ更新台数 台
	ウ 消防施設整備小型動力ポンプ積載車更新台数 台
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 大船渡市消防団	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 大船渡市消防団の各団各部 部
	キ
	ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 消防団員が、様々な災害現場に対応することが可能となり、災害時に有効な活動ができる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 様々な災害に対応することで、団員は市民の期待と信頼に十分に答えることができ、やすらぎある安全なまちづくりの推進につながる。	サ 消防施設整備消防ポンプ自動車更新台数 台
	シ 消防施設小型動力ポンプ更新台数 台
	ス 消防施設整備小型動力ポンプ積載車更新台数 台

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	28,700	0	10,100	18,400	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	768	0	163	145	0	0	
	人件費	事業費計(A)	千円	29,468	0	10,263	18,545	0	0	
		正規職員従事人数	人	4	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	720	10	720	720	10	10	
		人件費計(B)	千円	2,880	40	2,880	2,880	40	40	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	32,348	40	13,143	21,425	40	40	
⑤活動指標	ア	台	1	0	0	0	0	0		
	イ	台	1	0	1	1	0	0		
	ウ	台	1	0	1	1	0	0		
⑥対象指標	カ	部	51	45	45	45	41	41		
	キ									
	ク									
⑦成果指標	サ	台	1	-	0	0	0	0		
	シ	台	1	-	1	1	0	0		
	ス	台	1	-	1	1	0	0		

事務事業ID	1116	事務事業名	消防団車両等整備事業
--------	------	-------	------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和27年4月1日市制施行から消防団が発足され、各種災害に対応するため消防ポンプ自動車や小型ポンプ積載車などが配備された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	技術の進歩により、年々車両の性能、耐久性が向上している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	購入配備を進めているが、消防車両の老朽化等で更新の要望がされている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 消防団車両を更新することにより、消防団活動を円滑に行うことができ市民の安全に寄与している。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 消防団車両を活用して災害・警戒活動を行うことにより、市民の安全に寄与することができるため、公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 老朽化した車両では性能不足のため、有効な災害対応ができず、また団員数の減少及び平均年齢の上昇傾向のため、より安全に活動できる高度な車両は求められる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 最新装備の車両を更新導入していることから向上の余地は無し。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 消防活動を行う上で、消防車両は必要不可欠であるため、更新するべきである。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 車両価格が高騰している。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 消防車両という特殊な車両であり、車両及びポンプ仕様の精査、入札事務、検収と事務量は多く、時間短縮の可能性はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 災害活動で使用するものであり、市民への受益機会は適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持  ※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	災害発生時(風水害、火災等)に、安全・確実・迅速に活動するため、老朽化した消防車両の更新は必要不可欠であるが、消防団の再編計画等により、車両更新計画の見直しを行い、効果的に配備していく。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	初年度登録から20年以上経過した車両を、更新計画に従って配備していく必要があるが、消防団の再編計画等による更新計画の見直しや、消防車両等の高騰を勘案したうえでの仕様書作成を思索する。事務事業について、削減する余地はなく適正と判断する。